

# 相次ぐ大火の発生～防火対策の徹底を！

＜市場商店街や飲食店等が隣接・密集する地域の皆様へ＞

北九州市の市場や商店街では、500㎡以上焼損する火災が32件も発生

(市制発足以降：2年に1回の頻度)



次のことが要因  
と考えられます。

どうしてここまで  
大きい被害が？

建物や居住状況などの特性から

「火災の発見や通報が遅れる」  
「延焼拡大が早い」  
「消防隊の活動が困難となる」



これらのおそれがあり、**大火や焼死者が**  
発生する可能性が少なからずあるといえ  
ます。

## 防火対策のポイント！

まず、「火災を発生させないこと」が何よりも重要ですが、「早く気付くこと」や  
「火災を初期の段階で食い止めるための備え」も大切です。(裏面の対策へ)



令和4年 小倉北区魚町旦過地区の火災(いずれも夜間に発生)

- ・ 4月19日 1, 924㎡・42店舗を焼損
- ・ 8月10日 3, 324㎡・45店舗を焼損

下記の項目をチェックし、防火対策の見直し・強化を行ってください

◆火災を発生させない

- こんろやガス器具等のそばに燃えやすいものを置かない
- こんろやガス器具等を壁に近づけすぎない
- 天ぷらを揚げている時はその場から離れない
- 凝固剤を使用して油を再加熱する時はその場を離れない
- ダクト内の油を定期的に清掃する
- タコ足配線をしない
- コンセントのプラグを定期的に清掃する
- 電気の配線や機器の工事等は専門業者へ依頼する
- たばこの吸い殻を捨てる時は水をかける
- カーテン等は防災品を使う

◆早く気付く

- 自動火災報知設備は不良個所がないか点検しておく
- 煙や熱を警報で知らせる住宅用火災警報器を設置する

◆火災を初期の段階で食い止める

- 周囲に知らせ、直ちに 119 番通報する
- 119 番通報時に、落ち着いて住所と内容を話せるよう訓練しておく
- 消火器等を常備し、アルバイト等も含めて全員がすぐ使えるように訓練しておく
- 周囲と協力して通報・避難・初期消火を行う体制をつくり、定期的に訓練する

【公式】北九州市消防局の YOUTUBE  
チャンネル動画

天ぷら鍋からの出火

<https://youtu.be/zVgAo3ri9BM>



排気ダクト火災に注意！～清掃・メンテナンスを欠かさずに～

<https://youtu.be/OMIRNuMgLOU>



電気ストーブの取扱いに注意～住宅用火災警報器の鳴動～

<https://youtu.be/igMB614Y04I>



離れた場所でも火災を知らせる～無線式連動型住宅用火災警報器の効果

<https://youtu.be/zq2MykzDd5M>



訓練指導にお伺いします。お気軽に最寄りの消防署へご相談ください。

\*市補助金（商店街・木造市場防火関連設備設置事業）が活用できる場合があります。

八幡西消防署 622-0119 折尾分署 693-0119

黒崎分署 641-0119 上津役分署 613-0119

金剛分署 617-0119

令和4年8月 八幡西消防署作成